

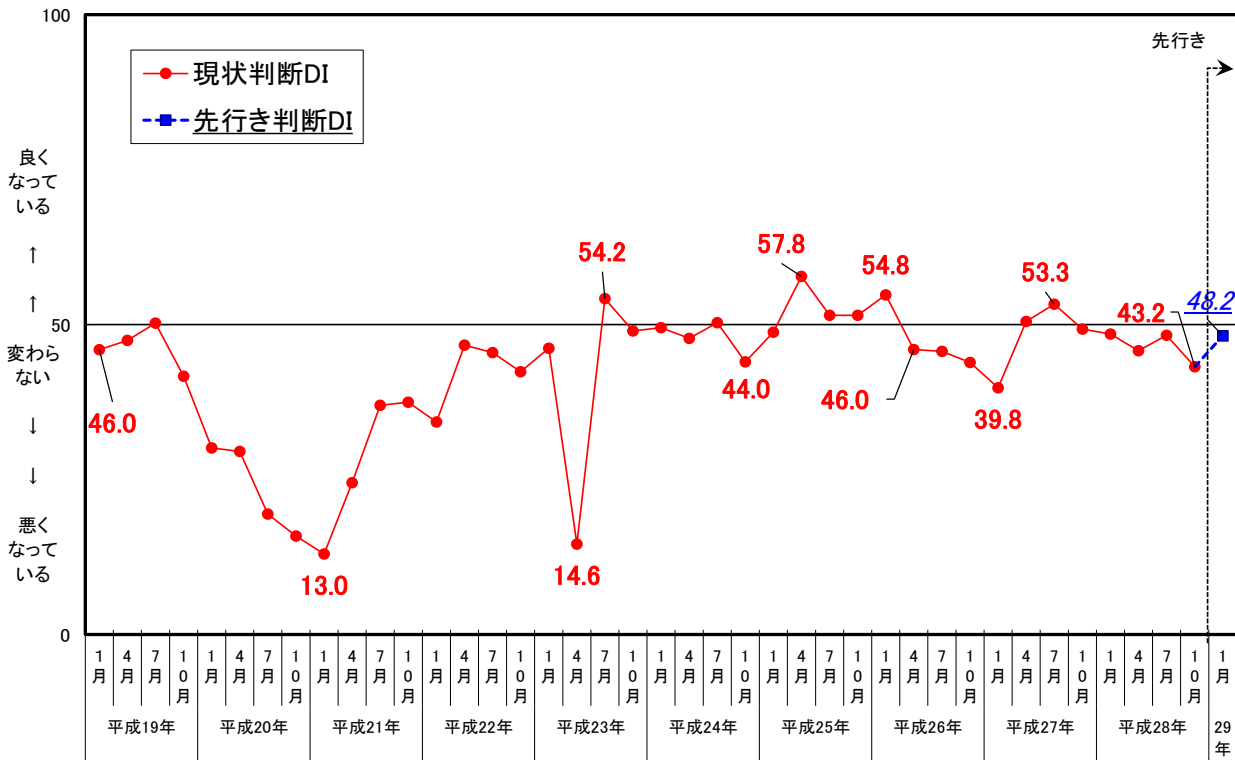
# 青森県景気ウォッチャー調査 (平成28年10月期)

調査期間 平成28年10月3日～10月13日 回答率99%

**概 況**

10月期の景気の現状判断DIは、前期比5.1ポイント減少の43.2と、5期連続で横ばいを示す50を下回った。  
先行き判断DIは、現状判断DIと比べて5.0ポイント増加の48.2となった。

景気現状判断DIの推移・今後の先行き判断DI



平成28年10月

青森県企画政策部統計分析課

# 青森県景気ウォッチャー調査について

## 1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

### (1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

#### ○地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計	企業	雇用
東青	青森市とその周辺部	30	23	4	3
津軽	弘前市、黒石市、五所川原市とその周辺部	30	22	6	2
県南	八戸市、十和田市、三沢市とその周辺部	30	21	7	2
下北	むつ市とその周辺部	10	9	1	0
		100	75	18	7

#### ○分野別の業種・職種

家計関連	小売	コンビニ、百貨店、スーパー、乗用車販売、衣料専門店、家電量販店、一般小売店、商店街、卸売業
	飲食	一般飲食店、レストラン、スナック
	サービス	観光型ホテル・旅館、都市型ホテル、観光名所等、旅行代理店、タクシー、美容院、パチンコ、競輪場、ガソリンスタンド
	住宅	設計事務所、住宅建設販売
企業関連	食料品製造、飲料品製造、紙・パルプ製造、電気機械製造、建設、経営コンサルタント、広告・デザイン	
雇用関連	人材派遣、新聞社求人広告、求人情報誌	

### (2) 調査事項

- ① 3カ月前と比べた景気の現状判断とその理由
  - ② 3カ月後の景気の先行き判断とその理由
- 参考1 景気の現状判断  
参考2 その他自由意見

### (3) 調査期日等

四半期に一度（1月、4月、7月、10月）実施し、翌月初旬に公表。

## 2. DIの算出方法

景気ウォッチャー調査におけるDI(ディフュージョン・インデックス)は、景気ウォッチャーによる景気の現状・先行き判断を示す指標で、以下の方法により算出している。

景気の現状または先行きに対する5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じ算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

※ 回答者全員が(景気は)「変わらない」と回答した場合、DIは50となるため、50が景気の方角性をあらわす目安となる。

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画政策部統計分析課 統計情報分析グループ  
TEL 017-734-9166 (直通) FAX 017-734-8038

## 1. 結果概要

### (1) 3カ月前と比べた景気の現状判断DI

#### ① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなっている」が同水準、「やや良くなっている」が6.9ポイント減少、「変わらない」が3.5ポイント減少、「やや悪くなっている」が7.3ポイント増加、「悪くなっている」が3.1ポイント増加したことにより、全体では5.1ポイント減少の43.2となり、景気の横ばいを示す50を5期連続で下回った。

判断理由では、デスティネーションキャンペーン等による県外観光客の増加、低金利により住宅建設販売が好調などプラス面をあげる声があった一方で、節約志向の高まりや天候不順による百貨店や外食産業の販売不振といったマイナス面をあげる声があった。

#### ② 分野別の動向

前期調査と比べて、家計関連全体で5.1ポイント減少、企業関連で5.6ポイント減少、雇用関連で3.5ポイント減少となった。特に、家計関連の小売で大きく減少した。

#### ③ 地区別の動向

前期調査と比べて、4地区の全てでポイントが減少し、いずれも景気の横ばいを示す50を下回った。

### (2) 3カ月後の景気の先行き判断DI

#### ① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなる」が3.0ポイント増加、「やや良くなる」が2.8ポイント減少、「変わらない」が0.6ポイント増加、「やや悪くなる」が3.8ポイント減少、「悪くなる」が3.1ポイント増加したことにより、全体では0.2ポイント増加の48.2となり、景気の横ばいを示す50を2期連続で下回った。

判断理由では、冬季商品の販売や年末年始の商戦、インフラ整備の動きに期待するという声があった一方で、個人消費の低迷、天候不順による農水産物の価格高騰等への先行き不安を懸念する声があった。

#### ② 分野別の動向

前期調査と比べて、家計関連全体で2.7ポイント増加、企業関連で6.9ポイント減少、雇用関連で7.1ポイント減少した。特に、家計関連の住宅で大きく増加した。

#### ③ 地区別の動向

前期調査と比べて、東青地区、津軽地区で増加し、県南地区、下北地区で減少した。東青地区、津軽地区では景気の横ばいを示す50を上回った。

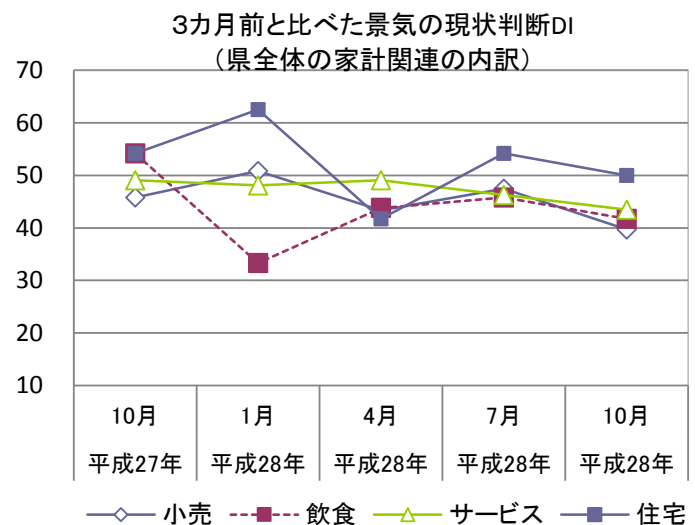
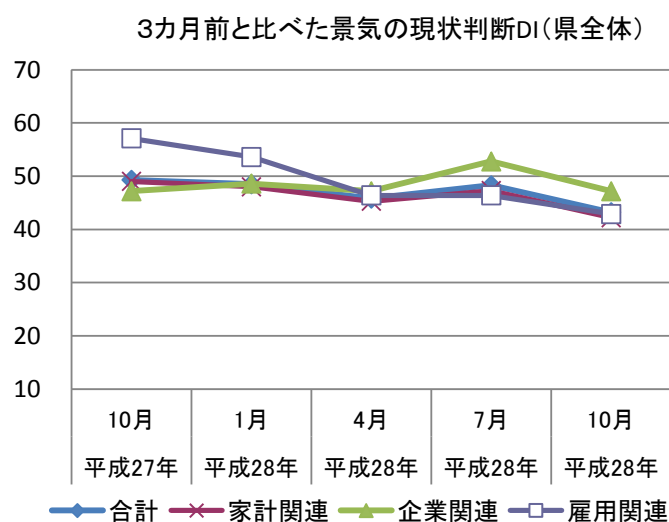
## 2. 県全体の動向

### (1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

#### ①DI

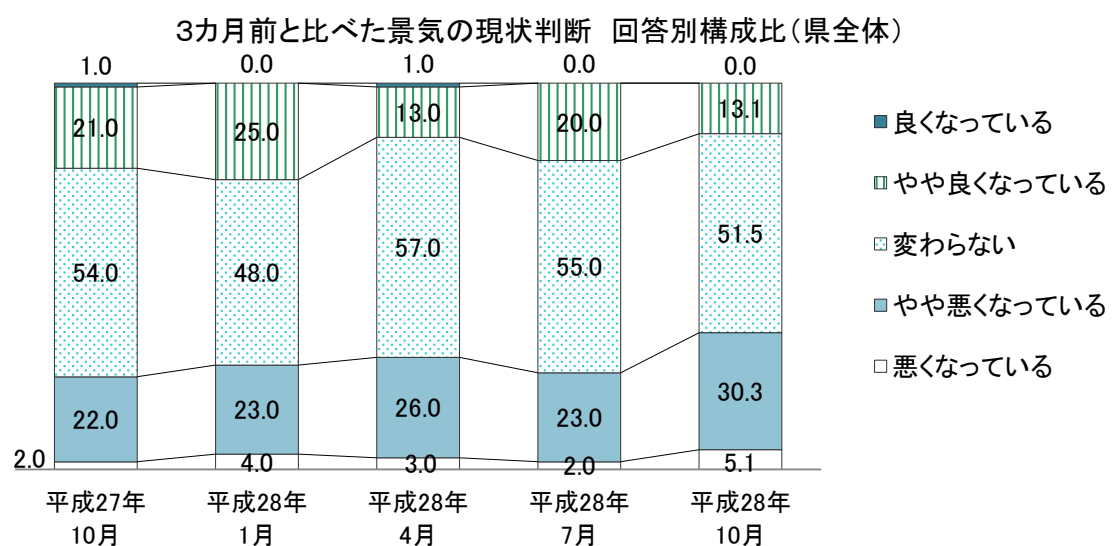
n = 99

	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>49.3</b>	<b>48.5</b>	<b>45.8</b>	<b>48.3</b>	<b>43.2</b>	<b>▲ 5.1</b>
家計関連	49.0	48.0	45.3	47.3	42.2	▲ 5.1
小売	45.8	50.8	43.3	47.5	39.7	▲ 7.8
飲食	54.2	33.3	43.8	45.8	41.7	▲ 4.1
サービス	49.1	48.1	49.1	46.3	43.5	▲ 2.8
住宅	54.2	62.5	41.7	54.2	50.0	▲ 4.2
企業関連	47.2	48.6	47.2	52.8	47.2	▲ 5.6
雇用関連	57.1	53.6	46.4	46.4	42.9	▲ 3.5



#### ②回答別構成比 (%)

	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	前期調査 との差
良くなっている	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	21.0	25.0	13.0	20.0	13.1	▲ 6.9
変わらない	54.0	48.0	57.0	55.0	51.5	▲ 3.5
やや悪くなっている	22.0	23.0	26.0	23.0	30.3	7.3
悪くなっている	2.0	4.0	3.0	2.0	5.1	3.1



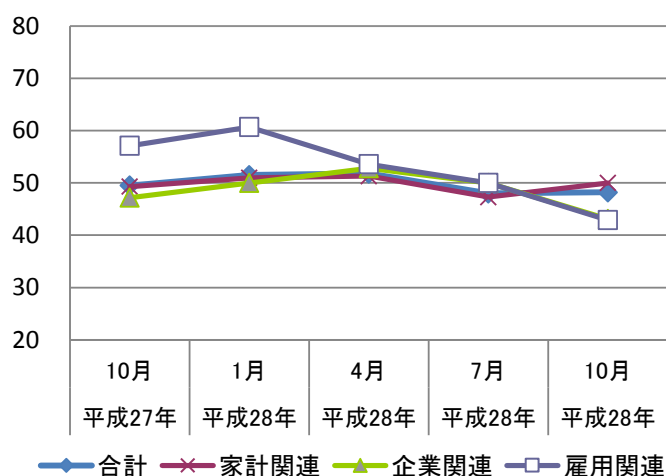
(2) 3カ月後の景気の先行き判断

①DI

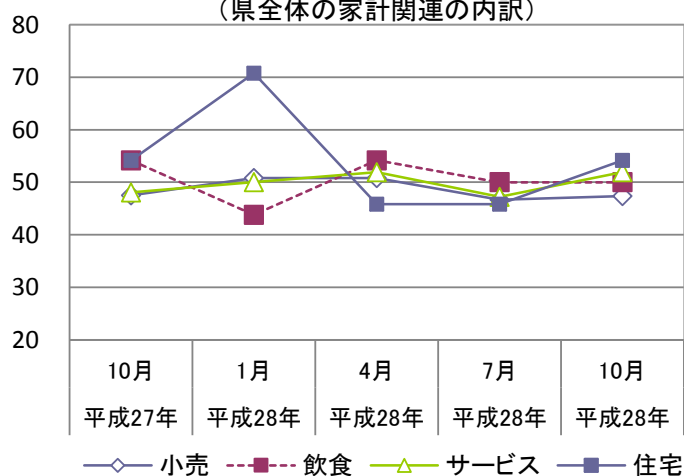
n = 99

	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>49.5</b>	<b>51.5</b>	<b>51.8</b>	<b>48.0</b>	<b>48.2</b>	0.2
家計関連	49.3	51.0	51.3	47.3	50.0	2.7
小売	47.5	50.8	50.8	46.7	47.4	0.7
飲食	54.2	43.8	54.2	50.0	50.0	0.0
サービス	48.1	50.0	51.9	47.2	51.9	4.7
住宅	54.2	70.8	45.8	45.8	54.2	8.4
企業関連	47.2	50.0	52.8	50.0	43.1	▲ 6.9
雇用関連	57.1	60.7	53.6	50.0	42.9	▲ 7.1

3カ月後の景気の先行き判断DI(県全体)



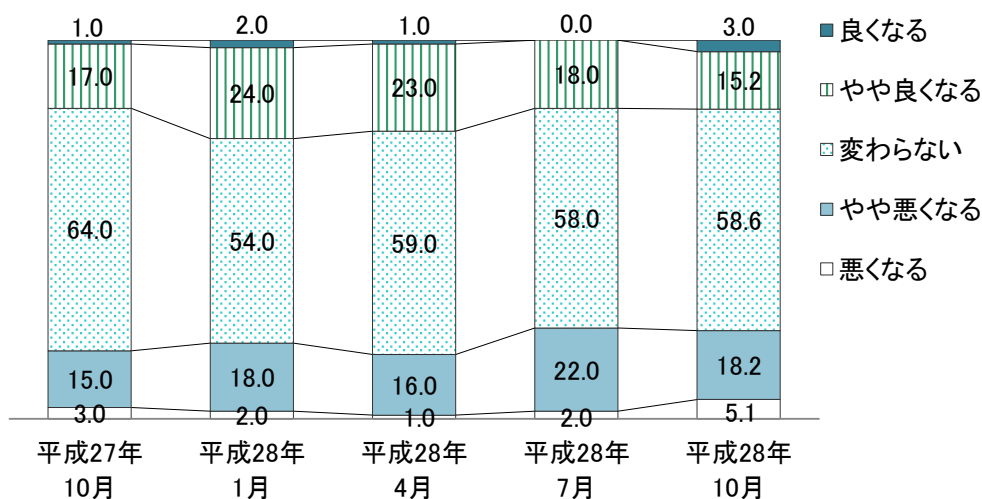
3カ月後の景気の先行き判断DI  
(県全体の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	前期調査 との差
良くなる	1.0	2.0	1.0	0.0	3.0	3.0
やや良くなる	17.0	24.0	23.0	18.0	15.2	▲ 2.8
変わらない	64.0	54.0	59.0	58.0	58.6	0.6
やや悪くなる	15.0	18.0	16.0	22.0	18.2	▲ 3.8
悪くなる	3.0	2.0	1.0	2.0	5.1	3.1

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(県全体)



### 3. 地区別の動向

#### (1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

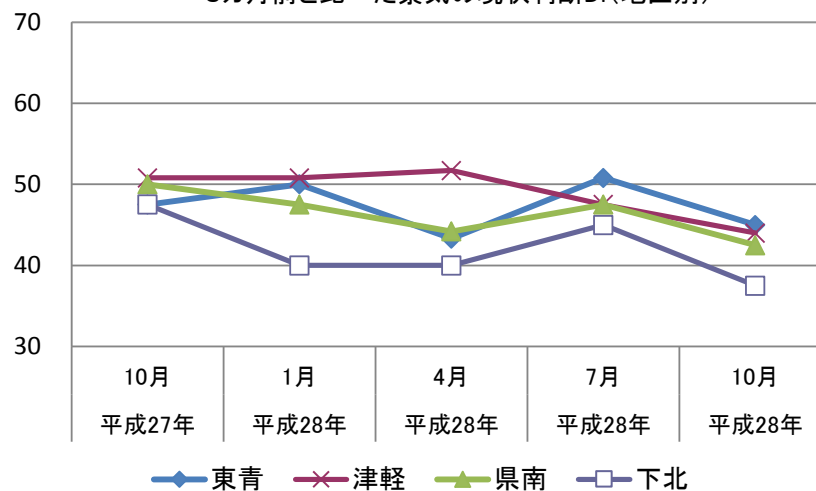
<地区別>

①DI

n = 99

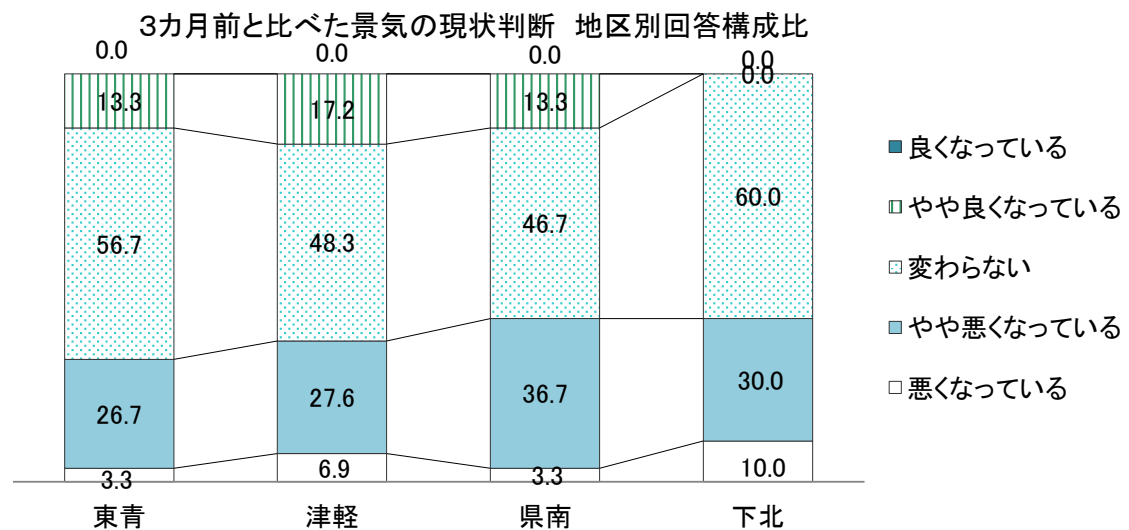
	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>49.3</b>	<b>48.5</b>	<b>45.8</b>	<b>48.3</b>	<b>43.2</b>	<b>▲ 5.1</b>
東青	47.5	50.0	43.3	50.8	45.0	▲ 5.8
津軽	50.8	50.8	51.7	47.5	44.0	▲ 3.5
県南	50.0	47.5	44.2	47.5	42.5	▲ 5.0
下北	47.5	40.0	40.0	45.0	37.5	▲ 7.5

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(地区別)



②地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	13.3	17.2	13.3	0.0
変わらない	56.7	48.3	46.7	60.0
やや悪くなっている	26.7	27.6	36.7	30.0
悪くなっている	3.3	6.9	3.3	10.0



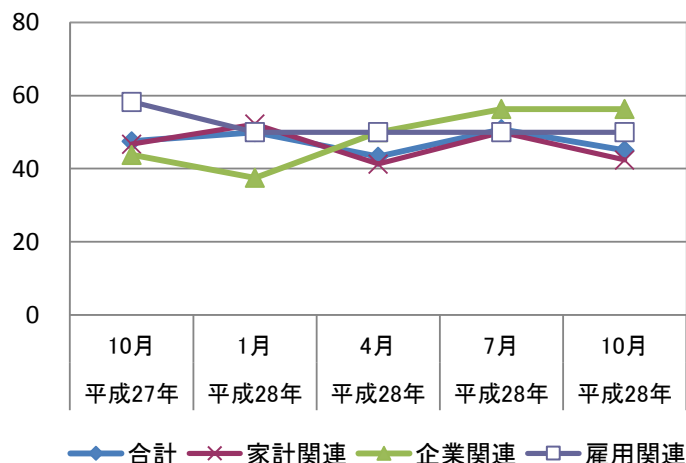
<東青地区>

①DI

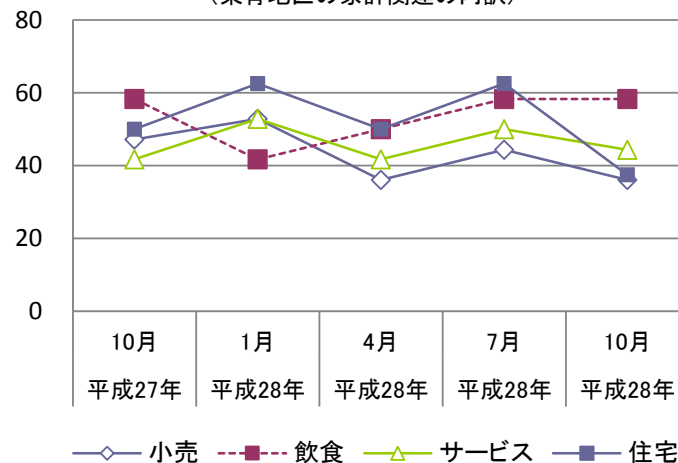
n = 30

	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>47.5</b>	<b>50.0</b>	<b>43.3</b>	<b>50.8</b>	<b>45.0</b>	<b>▲ 5.8</b>
家計関連	46.7	52.2	41.3	50.0	42.4	▲ 7.6
小売	47.2	52.8	36.1	44.4	36.1	▲ 8.3
飲食	58.3	41.7	50.0	58.3	58.3	0.0
サービス	41.7	52.8	41.7	50.0	44.4	▲ 5.6
住宅	50.0	62.5	50.0	62.5	37.5	▲ 25.0
企業関連	43.8	37.5	50.0	56.3	56.3	0.0
雇用関連	58.3	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(東青地区)



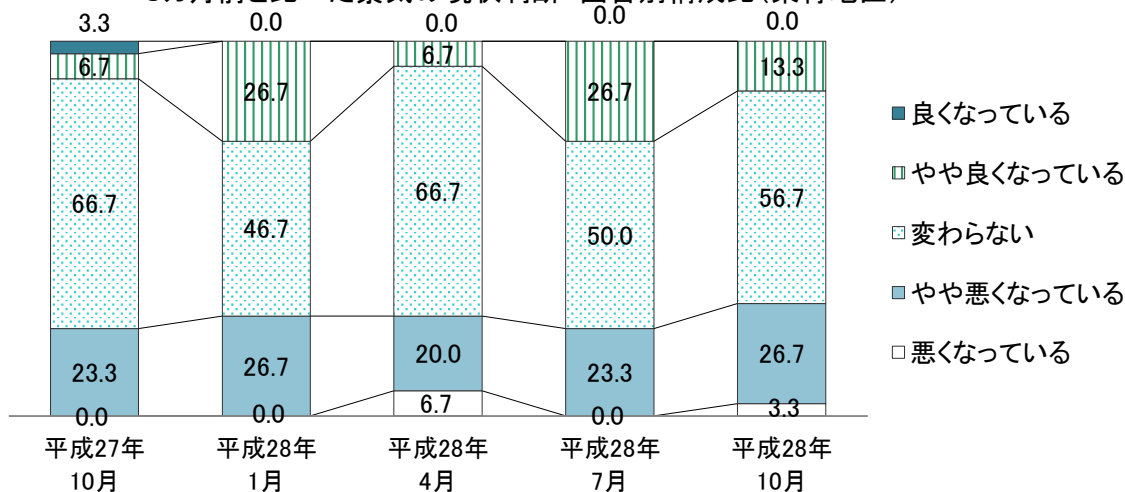
3カ月前と比べた景気の現状判断DI  
(東青地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	前期調査 との差
良くなっている	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	6.7	26.7	6.7	26.7	13.3	▲ 13.4
変わらない	66.7	46.7	66.7	50.0	56.7	6.7
やや悪くなっている	23.3	26.7	20.0	23.3	26.7	3.4
悪くなっている	0.0	0.0	6.7	0.0	3.3	3.3

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(東青地区)



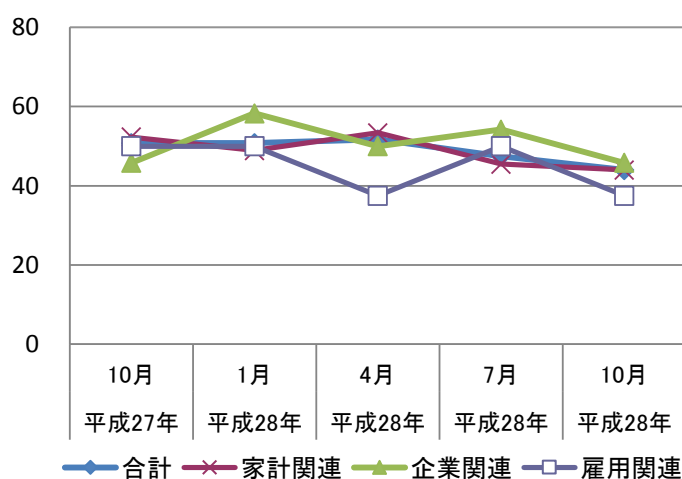
<津軽地区>

①DI

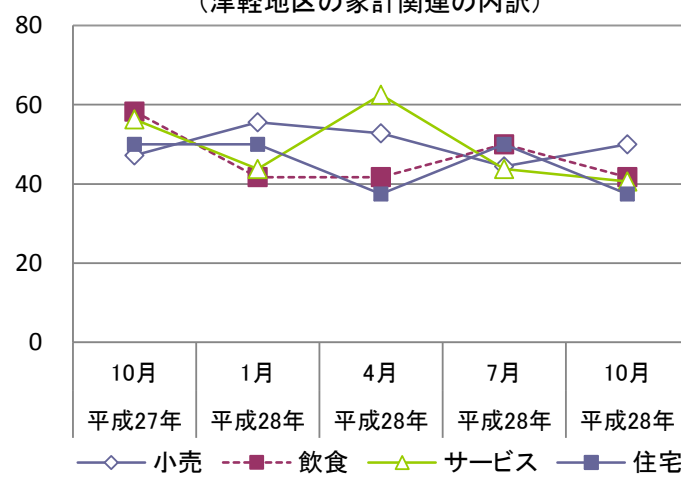
n = 29

	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>50.8</b>	<b>50.8</b>	<b>51.7</b>	<b>47.5</b>	<b>44.0</b>	<b>▲ 3.5</b>
家計関連	52.3	48.9	53.4	45.5	44.0	▲ 1.5
小売	47.2	55.6	52.8	44.4	50.0	5.6
飲食	58.3	41.7	41.7	50.0	41.7	▲ 8.3
サービス	56.3	43.8	62.5	43.8	40.6	▲ 3.2
住宅	50.0	50.0	37.5	50.0	37.5	▲ 12.5
企業関連	45.8	58.3	50.0	54.2	45.8	▲ 8.4
雇用関連	50.0	50.0	37.5	50.0	37.5	▲ 12.5

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(津軽地区)



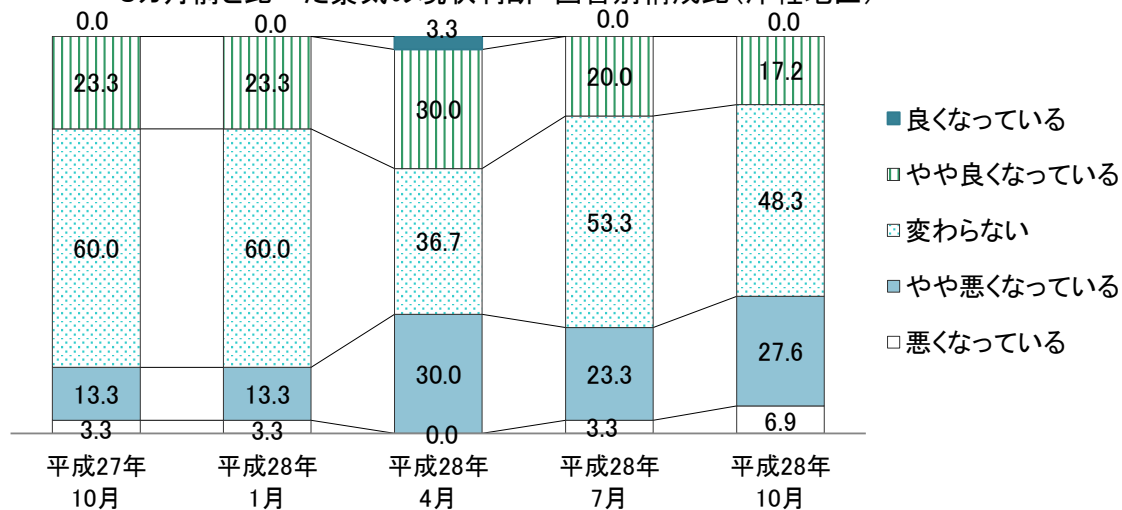
3カ月前と比べた景気の現状判断DI  
(津軽地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	23.3	23.3	30.0	20.0	17.2	▲ 2.8
変わらない	60.0	60.0	36.7	53.3	48.3	▲ 5.0
やや悪くなっている	13.3	13.3	30.0	23.3	27.6	4.3
悪くなっている	3.3	3.3	0.0	3.3	6.9	3.6

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(津軽地区)





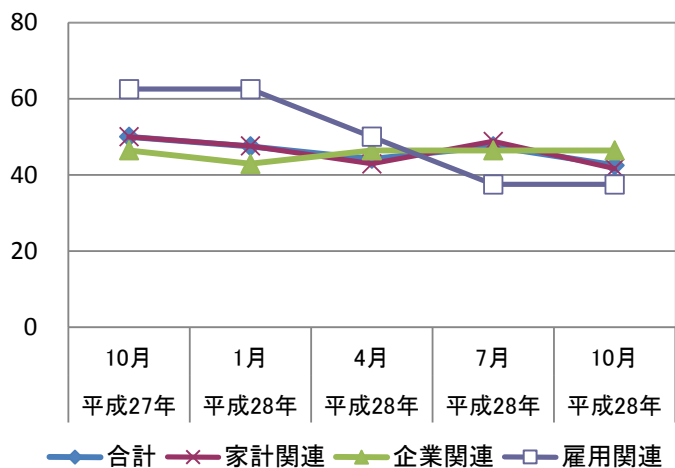
< 県南地区 >

① D I

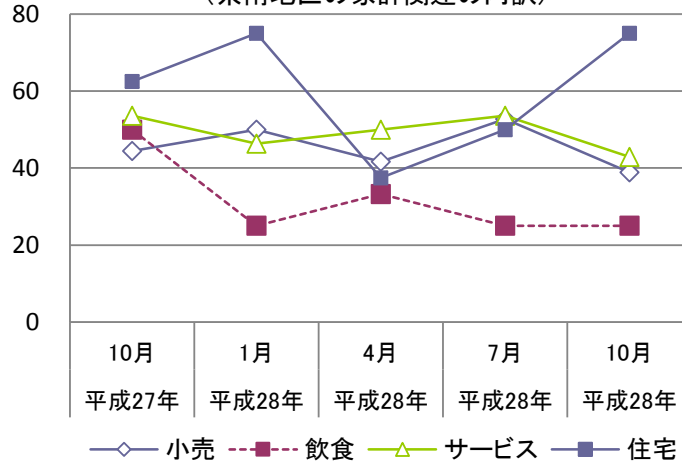
n = 30

	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>50.0</b>	<b>47.5</b>	<b>44.2</b>	<b>47.5</b>	<b>42.5</b>	<b>▲ 5.0</b>
家計関連	50.0	47.6	42.9	48.8	41.7	▲ 7.1
小売	44.4	50.0	41.7	52.8	38.9	▲ 13.9
飲食	50.0	25.0	33.3	25.0	25.0	0.0
サービス	53.6	46.4	50.0	53.6	42.9	▲ 10.7
住宅	62.5	75.0	37.5	50.0	75.0	25.0
企業関連	46.4	42.9	46.4	46.4	46.4	0.0
雇用関連	62.5	62.5	50.0	37.5	37.5	0.0

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(県南地区)



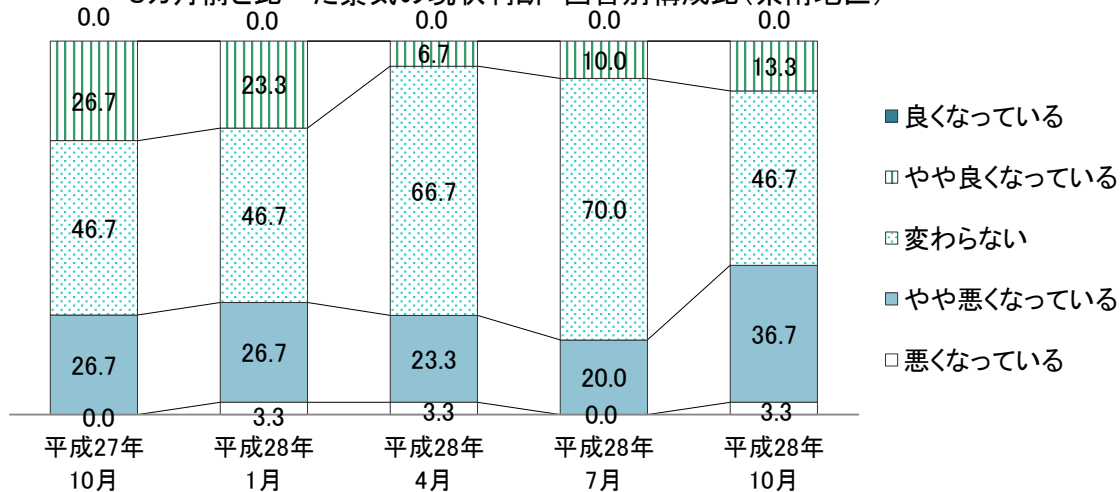
3カ月前と比べた景気の現状判断DI  
(県南地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	26.7	23.3	6.7	10.0	13.3	3.3
変わらない	46.7	46.7	66.7	70.0	46.7	▲ 23.3
やや悪くなっている	26.7	26.7	23.3	20.0	36.7	16.7
悪くなっている	0.0	3.3	3.3	0.0	3.3	3.3

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(県南地区)



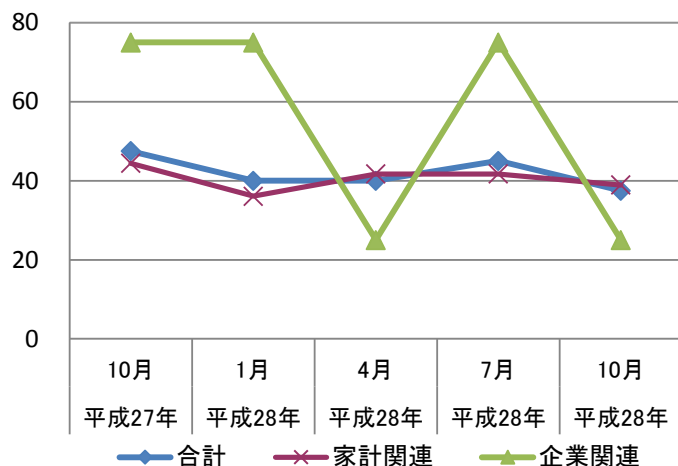
<下北地区> (参考)

①DI

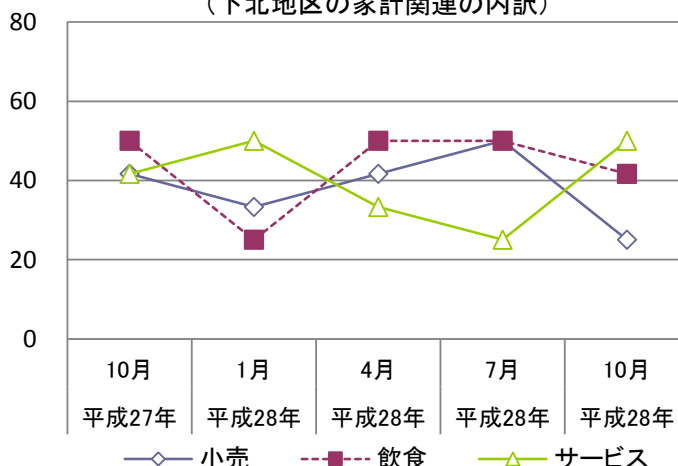
n = 10

	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>47.5</b>	<b>40.0</b>	<b>40.0</b>	<b>45.0</b>	<b>37.5</b>	<b>▲ 7.5</b>
家計関連	44.4	36.1	41.7	41.7	38.9	▲ 2.8
小売	41.7	33.3	41.7	50.0	25.0	▲ 25.0
飲食	50.0	25.0	50.0	50.0	41.7	▲ 8.3
サービス	41.7	50.0	33.3	25.0	50.0	25.0
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	75.0	75.0	25.0	75.0	25.0	▲ 50.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-

3か月前と比べた景気の現状判断DI(下北地区)



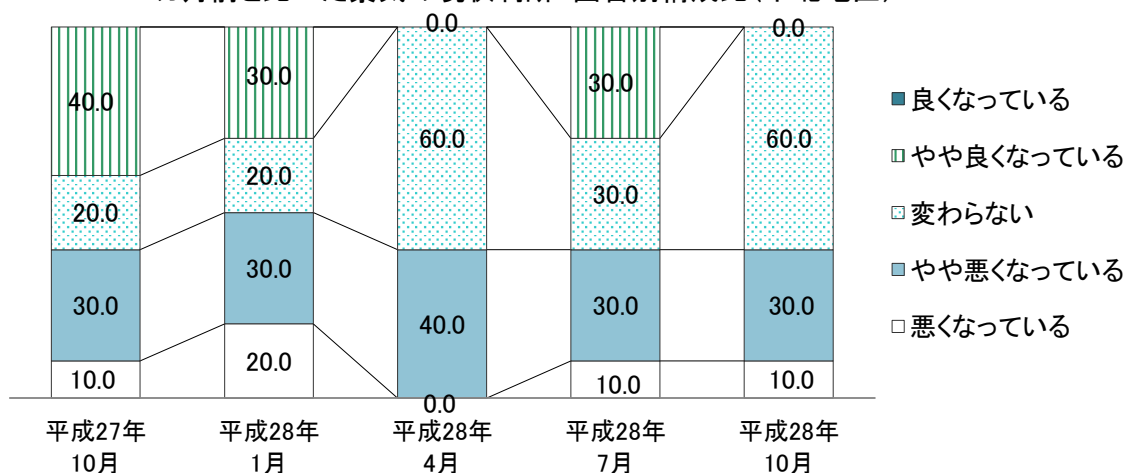
3か月前と比べた景気の現状判断DI  
(下北地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	40.0	30.0	0.0	30.0	0.0	▲ 30.0
変わらない	20.0	20.0	60.0	30.0	60.0	30.0
やや悪くなっている	30.0	30.0	40.0	30.0	30.0	0.0
悪くなっている	10.0	20.0	0.0	10.0	10.0	0.0

3か月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(下北地区)



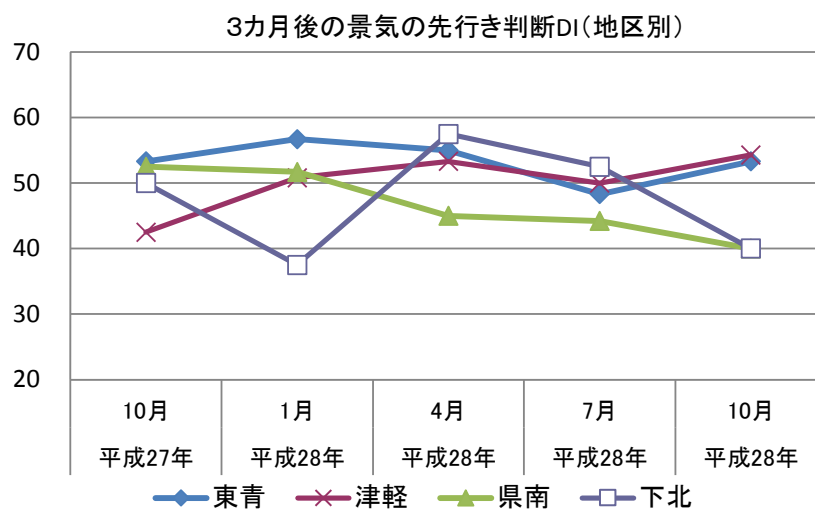
(2) 3カ月後の景気の先行き判断

<地区別>

①DI

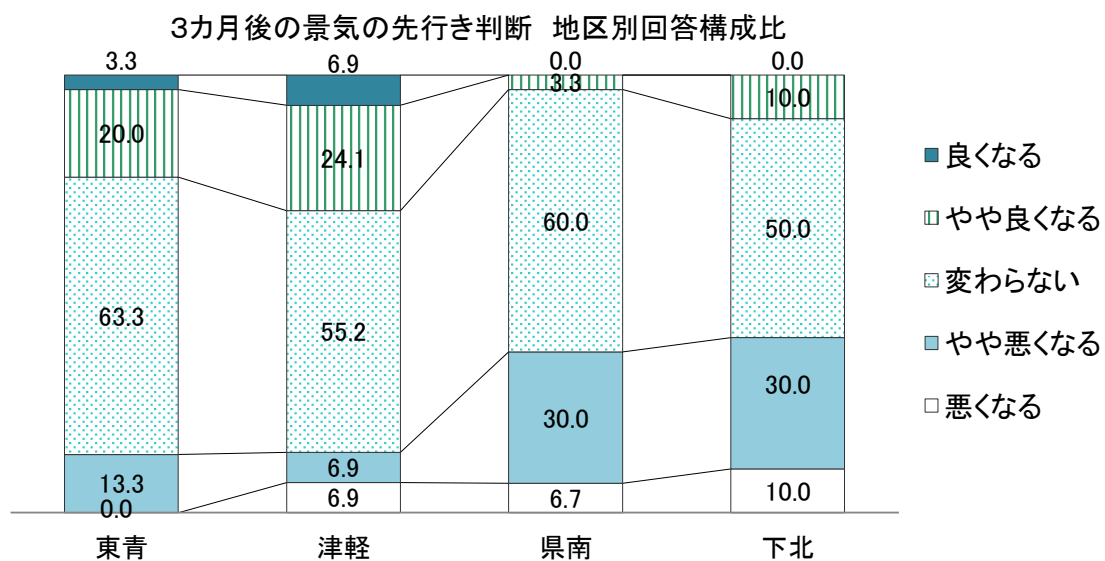
n = 99

	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>49.5</b>	<b>51.5</b>	<b>51.8</b>	<b>48.0</b>	<b>48.2</b>	0.2
東青	53.3	56.7	55.0	48.3	53.3	5.0
津軽	42.5	50.8	53.3	50.0	54.3	4.3
県南	52.5	51.7	45.0	44.2	40.0	▲ 4.2
下北	50.0	37.5	57.5	52.5	40.0	▲ 12.5



②地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなる	3.3	6.9	0.0	0.0
やや良くなる	20.0	24.1	3.3	10.0
変わらない	63.3	55.2	60.0	50.0
やや悪くなる	13.3	6.9	30.0	30.0
悪くなる	0.0	6.9	6.7	10.0



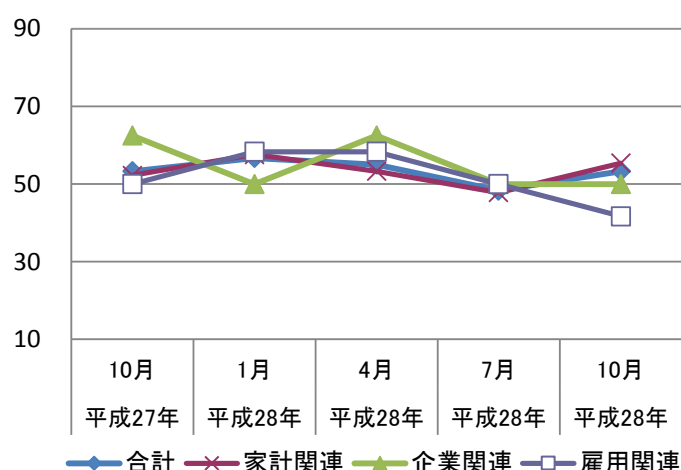
<東青地区>

①DI

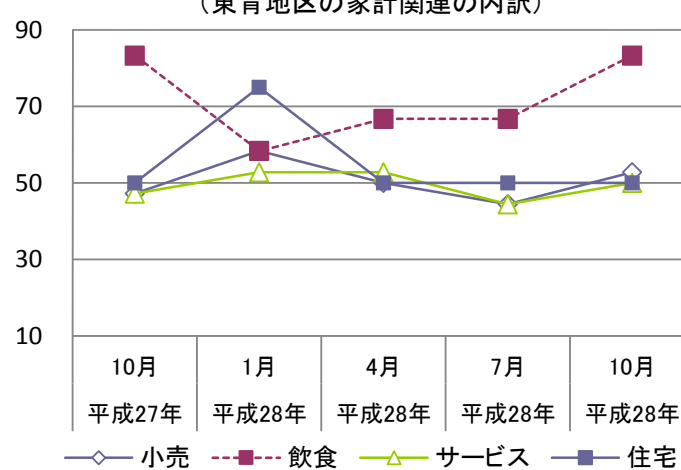
n = 30

	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>53.3</b>	<b>56.7</b>	<b>55.0</b>	<b>48.3</b>	<b>53.3</b>	5.0
家計関連	52.2	57.6	53.3	47.8	55.4	7.6
小売	47.2	58.3	50.0	44.4	52.8	8.4
飲食	83.3	58.3	66.7	66.7	83.3	16.6
サービス	47.2	52.8	52.8	44.4	50.0	5.6
住宅	50.0	75.0	50.0	50.0	50.0	0.0
企業関連	62.5	50.0	62.5	50.0	50.0	0.0
雇用関連	50.0	58.3	58.3	50.0	41.7	▲ 8.3

3カ月後の景気の先行き判断DI(東青地区)



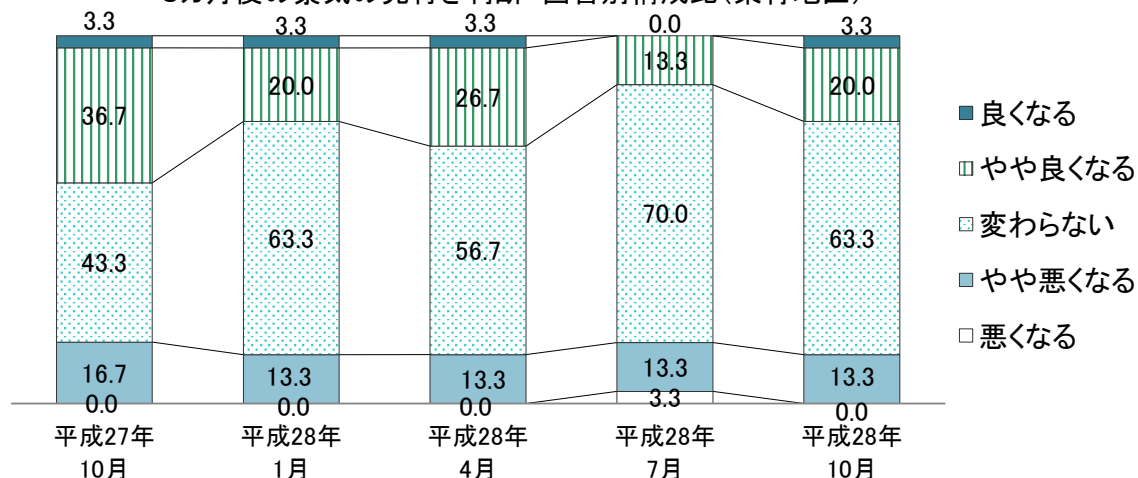
3カ月後の景気の先行き判断DI  
(東青地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	前期調査 との差
良くなる	3.3	3.3	3.3	0.0	3.3	3.3
やや良くなる	36.7	20.0	26.7	13.3	20.0	6.7
変わらない	43.3	63.3	56.7	70.0	63.3	▲ 6.7
やや悪くなる	16.7	13.3	13.3	13.3	13.3	0.0
悪くなる	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	▲ 3.3

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(東青地区)



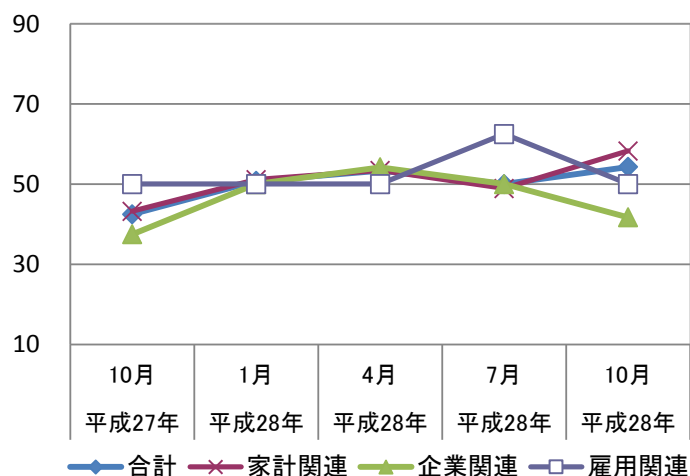
<津軽地区>

①DI

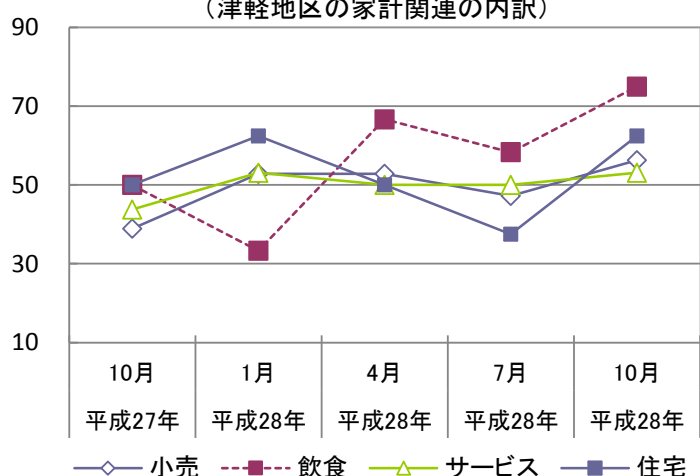
n = 29

	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>42.5</b>	<b>50.8</b>	<b>53.3</b>	<b>50.0</b>	<b>54.3</b>	4.3
家計関連	43.2	51.1	53.4	48.9	58.3	9.4
小売	38.9	52.8	52.8	47.2	56.3	9.1
飲食	50.0	33.3	66.7	58.3	75.0	16.7
サービス	43.8	53.1	50.0	50.0	53.1	3.1
住宅	50.0	62.5	50.0	37.5	62.5	25.0
企業関連	37.5	50.0	54.2	50.0	41.7	▲ 8.3
雇用関連	50.0	50.0	50.0	62.5	50.0	▲ 12.5

3カ月後の景気の先行き判断DI(津軽地区)



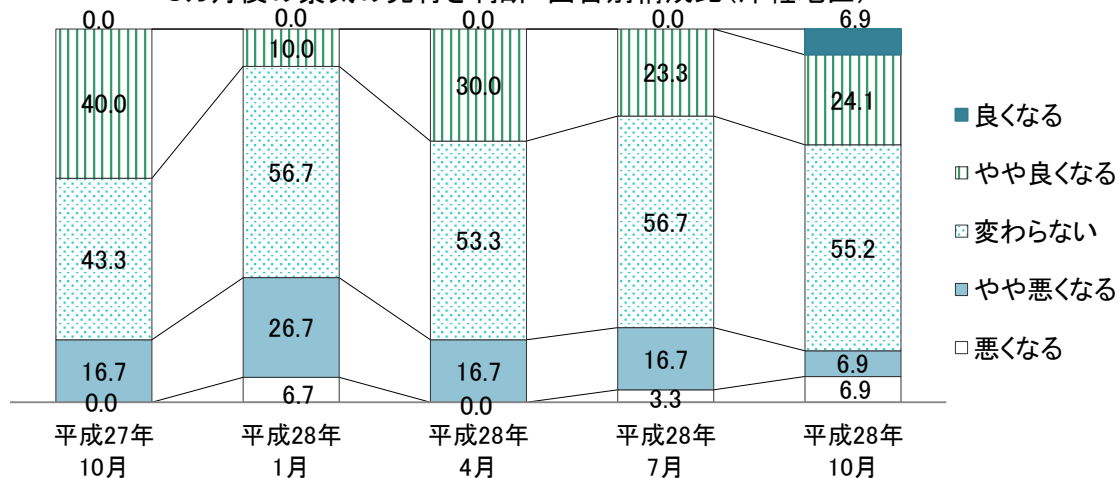
3カ月後の景気の先行き判断DI  
(津軽地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	前期調査 との差
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	6.9	6.9
やや良くなる	40.0	10.0	30.0	23.3	24.1	0.8
変わらない	43.3	56.7	53.3	56.7	55.2	▲ 1.5
やや悪くなる	16.7	26.7	16.7	16.7	6.9	▲ 9.8
悪くなる	0.0	6.7	0.0	3.3	6.9	3.6

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(津軽地区)



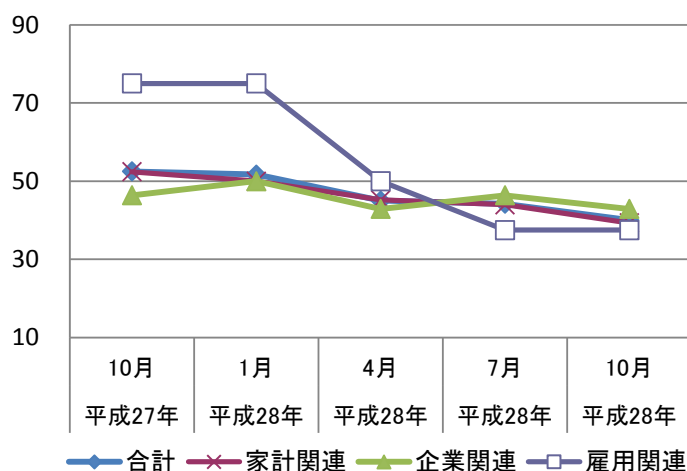
< 県南地区 >

① D I

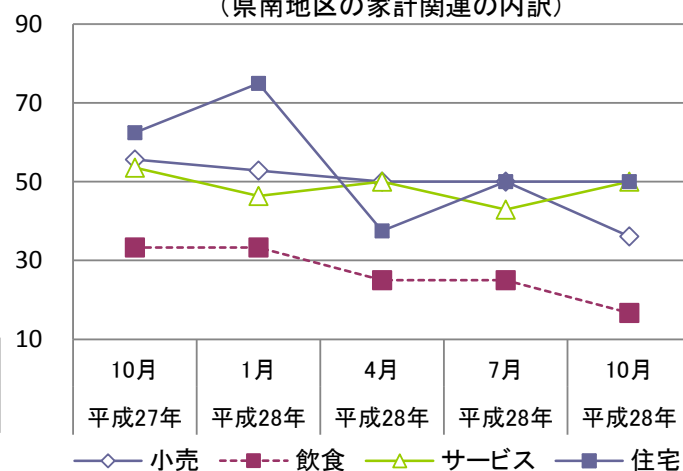
n = 30

	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>52.5</b>	<b>51.7</b>	<b>45.0</b>	<b>44.2</b>	<b>40.0</b>	<b>▲ 4.2</b>
家計関連	52.4	50.0	45.2	44.0	39.3	▲ 4.7
小売	55.6	52.8	50.0	50.0	36.1	▲ 13.9
飲食	33.3	33.3	25.0	25.0	16.7	▲ 8.3
サービス	53.6	46.4	50.0	42.9	50.0	7.1
住宅	62.5	75.0	37.5	50.0	50.0	0.0
企業関連	46.4	50.0	42.9	46.4	42.9	▲ 3.5
雇用関連	75.0	75.0	50.0	37.5	37.5	0.0

3カ月後の景気の先行き判断DI(県南地区)



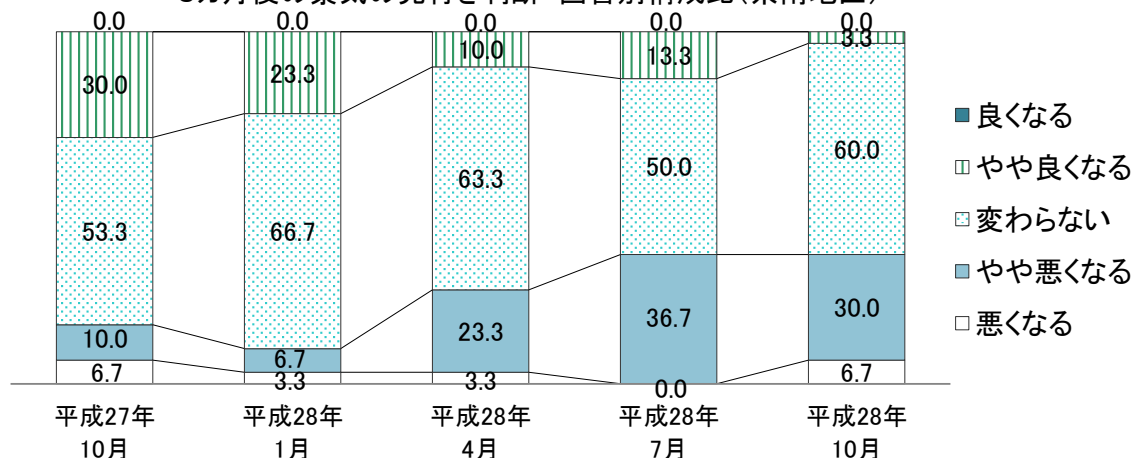
3カ月後の景気の先行き判断DI  
(県南地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	前期調査 との差
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	30.0	23.3	10.0	13.3	3.3	▲ 10.0
変わらない	53.3	66.7	63.3	50.0	60.0	10.0
やや悪くなる	10.0	6.7	23.3	36.7	30.0	▲ 6.7
悪くなる	6.7	3.3	3.3	0.0	6.7	6.7

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(県南地区)



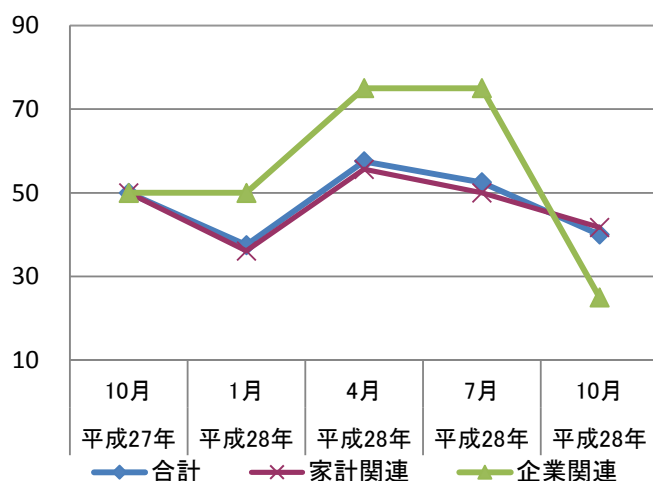
<下北地区> (参考)

①DI

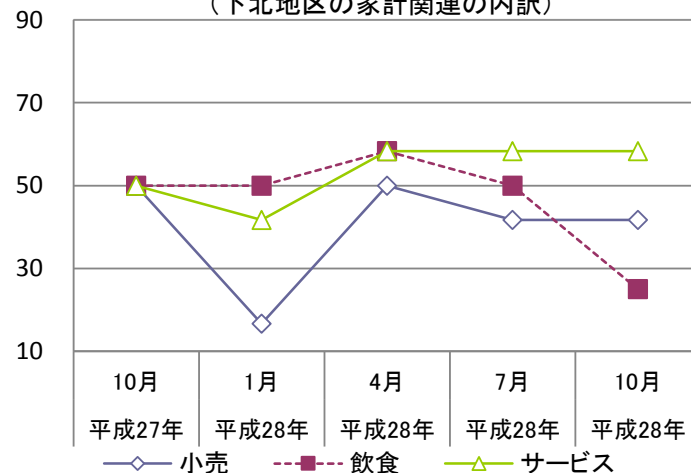
n = 10

	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>50.0</b>	<b>37.5</b>	<b>57.5</b>	<b>52.5</b>	<b>40.0</b>	<b>▲ 12.5</b>
家計関連	50.0	36.1	55.6	50.0	41.7	▲ 8.3
小売	50.0	16.7	50.0	41.7	41.7	0.0
飲食	50.0	50.0	58.3	50.0	25.0	▲ 25.0
サービス	50.0	41.7	58.3	58.3	58.3	0.0
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	50.0	50.0	75.0	75.0	25.0	▲ 50.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-

3カ月後の景気の先行き判断DI(下北地区)



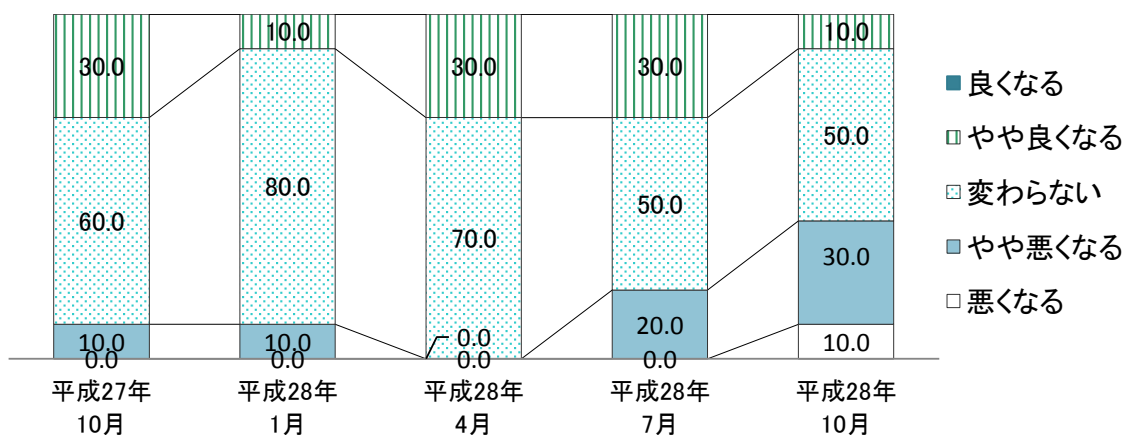
3カ月後の景気の先行き判断DI  
(下北地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	前期調査 との差
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	30.0	10.0	30.0	30.0	10.0	▲ 20.0
変わらない	60.0	80.0	70.0	50.0	50.0	0.0
やや悪くなる	10.0	10.0	0.0	20.0	30.0	10.0
悪くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(下北地区)



## 4. 判断理由

### (1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由
やや良くなっている	家計	東青	衣料専門店	昨年の「プレミアム商品券」フィーバーの反動、「六魂祭」騒ぎで落ち込んだ前回調査に比べると持ち直してきたように感じる。昨年同時期対比の数字も良い。
			レストラン	今年は観光シーズンに県外のお客様が多いように思った。
		津軽	一般飲食店	観光のお客様が増えている。特に外人客。
		県南	設計事務所	11月1日に商工会議所議員選挙があるが、前回同様の方々立候補（全員）する様だ。商工会議所の議員は無報酬どころか、会費を普通の会員の方々の何倍も払い、日当も無い中で務めるので、景気が悪いとできない。それと依然として人手不足である。人手不足＝仕事があると考えては、景気が悪いはずが無い。
			商店街	岩手国体関係で八戸にも人の入込みが多いように感じるから。
			住宅建設販売	住宅ローンが低金利のため。
			コンビニ	設備投資が盛んである。
	企業	東青	食料品製造	単価の高い商品が動き始めました。
		津軽	電気機械製造	受注が盛況であるため。
			経営コンサルタント	最低賃金が10月に上がるのに伴い、ベースアップを早めて行う企業が見受けられる。育休明けで復職する女性従業員や、保育園の空き待ちで待機している児童についても数ヶ所で聞きます。
	雇用	東青	人材派遣	職種によって景気の良し悪しがあると思いますが、今年は六魂祭などの大きなイベントの開催や台風などの災害が多いので、サービス・保険業界などの景気は上向きという印象を受けました。
変わらない	家計	東青	旅行代理店	秋の旅行シーズンでお客様の動きはあるが、単価の安い旅行に集中している。
			美容院	商品の売上げが著しく低下している。
			都市型ホテル	宿泊関係はDCの影響もあり多少上向いたが、全体的な売上は前年並みである。
			設計事務所	大きな災害にも見舞われず、平穩に日々の仕事や生活が推移した。
			商店街	9月は残暑の影響で秋物への移行が遅れたことから、売上が低迷しているのではないかと。
			競輪場	売上の変動がない。
			観光型ホテル・旅館	青函DCの効果らしき夏場の繁忙があり、例年より良かった。
			一般飲食店	天候が夏場は比較的恵まれて客足も途絶えることなくずっと忙しかったのですが、秋になってくるとに依り雨や台風なども多くなり、そのような時はどうしても来店数が落ち込みました。
			スナック	変わらないという事は良くありません。飲食店（居酒屋、スナック）のオーナーと話しておりますが、苦情ばかりです。何故こんなに不景気なのか毎日考えて悩んでおります。



現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	東青	ガソリンス スタンド	建設業界ではそこそこの受注があるようだが、その他の産業、特に小売業では売上減が続いている。
			津軽	旅行代理店
		百貨店		衣料品の売上が苦戦している。
		設計事務所		前年の今頃と比べて仕事量、売上高が同程度だと感じます。来年に向けての業務依頼はこれからなので、この先は上向きになると思います。
		乗用車販売		停滞感が続いている。
		観光名所等		福島県の東日本大震災の影響がまだ尾を引いている。バス料金の大幅値上。若年～中年の金の使い方が変わった（飲むより食べる等）。
		観光型ホテル・旅館		北海道新幹線開業に伴うDCが景気を大幅に上回らせたとはいえず、このまま継続していくのではないかとと思われる。
		衣料専門店		8月は衣料品が悪い。
		コンビニ	何かイベントがあれば人が動きます。アップルマラソンで他県からも来ていますが、景気が良くなる為にはお金を落としてもらえない。	
	県南	美容院	一般に動きが鈍い感じです。特に明るい物差しは見えません。	
		乗用車販売	都市部では地価や人件費高騰と言っているが、地方に全く波及が見られない。東京オリンピックに向け好景気と言われているが、東京都だけで終わる様な気がする。	
		観光型ホテル・旅館	消費税増税の延期はあるものの、先行き不透明なため良くも悪くも大きな変化なし。	
		家電量販店	客数減の歯止めがかからず。	
		パチンコ	あまり変化が見られない。	
		ガソリンス スタンド	上昇要因が見当たらない。消費者は不要不急の支出を抑えているように感じられる。	
	下北	都市型ホテル	上向き、下向きの動きが余りなく、停滞している感じ。	
		レストラン	昨年とお客様の動きが変わらない。	
		スーパー	売上の低迷。お客様の買い方が節約志向になっている。無駄なものは買わない。「安くても良い商品」が主流。	
		ガソリンス スタンド	お盆や祭りの時も帰省客も増えず苦戦した。	
	企業	東青	広告・デザイン	広告出稿が増えている業種もあれば、減っている業種もあり、均せばほぼ同等。
			経営コンサルタント	建設業は公共工事中心に良く、貨物運送業も良好な状況が続いているが、個人消費は夏場低迷が続いた。宿泊サービス関係は青函DCもあり、やや良い状況であった。
		津軽	食料品製造	取り立てて何の変化もなく推移している。
		県南	食料品製造	前回の海外経済の不透明感による景況感の悪化に代わり、原料高騰により景況感は停滞していると感じるから。
広告・デザイン			仕事量も増えず、新規の動きもなく、今まで通りの仕事が継続しているに過ぎない。	

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	企業	県南	建設	株価や投資状況、テレビを見ていても景気に関する悪いニュースはあっても、良いニュースはほとんど見かけない。
			経営コンサルタント	顧問先企業でも賃上げしているところが多々見られるのだが、それが消費に結びつかない。企業の設備投資意欲も強くはならない。
			飲料品製造	月により出荷数量が良かったり悪かったり、以前よりムラが感じられる。市場の雰囲気停滞感あり。
	雇用	東青	新聞社求人広告	大きな変動要素なし。
		津軽	新聞社求人広告	業種によって好不調のばらつきがあって、今後も景気の一進一退が続くと思うから。
		県南	新聞社求人広告	多業種との接点がある中で、なかなか景気が良い話は聞こえてこない。
やや悪くなっている	家計	東青	住宅建設販売	夏と比較すると、冬に向かうこの時期は毎年ですが、住宅取得に向けた具体的な顧客の動きが鈍い。
			観光名所等	28年4～6月期の入込客数は前年比112.8%に対し、28年7～9月期は同93.9%となり、28年4～9月期累計では同100.6%と前年並みとなった。本来もっとも入込の多い8月の落ち込みが影響した。
			卸売業	天候のせいもあると思うが商品の動きが悪い。買い物に行ってもチラシ商材だけが売れている。
			タクシー	これから寒い時期を迎えるのに際して、消費者が消費を少なくしていますし、夏のイベントや旅行等で出費が多くなったので、消費を抑えているとお客様たちが話していました。
			スーパー	今年は、台風の影響で野菜の相場が高騰、海は時化等の影響で入荷が少ない状況。
			コンビニ	秋から冬は夏よりいつも悪くなる。
	津軽	都市型ホテル	仕事全体が昨年対比を下回っている。	
		住宅建設販売	税引後の収入が増えていない為、住宅ローンを組む人達が返済金額を抑えて借入れしている。	
		一般小売店	7、8月は前年と変わらずだったのが、9月の下がり方がひどく、3カ月間でみると「悪い」に近い「やや悪い」である。	
		パチンコ	売上減少。来客数減少。	
		スナック	農繁期ということもあってか、この時期は売上が落ちます。	
	県南	百貨店	天候不順や節約志向の高まりのためか、衣料品、食料品、住生活関連とも全般的に消費が伸び悩んでいる。	
		観光名所等	8月、9月の入込数、売上共減少している。	
		一般小売店	7月が良く、8月が悪く、9月はまずまずと良い悪いの方向性が見えていない。台風の影響（受水被害など）もあり、良くないと思う。	
		一般飲食店	天候が不順で客足が伸びない様に感じられる。何の要因かはっきり分からないが冷え込みつつある。	
		衣料専門店	8月、9月の売上が昨年割れとなっている。	
		レストラン	台風の影響もあり、野菜、魚等の仕入れが少なく、価格も上がっている為、値段を上げなければならない。高いとやはりお客様にも売れなくなってしまう。	

現状	分野	地区	業種	理由
やや悪くなっている	家計	県南	タクシー	9月中期までは良かったが、9月下旬以後は非常に悪くなった。
			スナック	毎年のことだが、冬の時期は売上が伸びない。
		下北	一般飲食店	お客様が減っているのに物価が上がっています。ますます悪くなると思います。
			コンビニ	気温低下とともに客足が減っている。
	企業	津軽	広告・デザイン	受注物件数が減少しており、単価面でも更に厳しい状況が続いている。
		県南	電気機械製造	円高進行により日本製設備の売れ行きが鈍ってきたとの情報があり、受注は微減。また中国やアジアの投資意欲も低めである。
		下北	食料品製造	昨年9月のシルバーウィークの様な盛り上がりがないまま、10月を迎えてしまった。
悪くなっている	家計	東青	乗用車販売	販売低迷。
		津軽	ガソリンスタンド	お盆過ぎから極端に冷え込んできた。
		県南	スーパー	社会保険制度変更での目減りを危惧。
		下北	一般小売店	理由が何か解らないのですが、客足が鈍く、購買意欲が落ちている気がします。

(2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由
良くなる	家計	東青	一般飲食店	お店の対策はいろいろ取り組んでいるので、それが反映されて忙しくなると思う。
		津軽	レストラン	時期的なもの。
やや良くなる	家計	東青	衣料専門店	新聞報道などから経済の指数は微増で下がってはいないと伝えられる。県内景気も農産物、水産物が良好、法人税も増で労働者最低賃金も上がり、ボーナスも微増。悪い条件はアウガだけである。
			スナック	良くなるように期待しております。ただお客様を待っていても仕事になりませんから、それなりの夜の営業をしながら頑張っております。紅葉シーズンは如何ですかね。
			家電量販店	冬季商品（スタッドレスタイヤ、除雪用品）が売れる時季になるため。
			観光名所等	8月前年比で大きく落ち込むも、翌9月以降、回復基調にある。
			レストラン	県外のお客様に比べて県内のお客様（地元）の動きが悪く思われた。県外のお客様が増えたということは、県外に向けた県のアピールが成功したからなのだろうか。
			パチンコ	若干ではあるが、市内においてインフラ整備が目につくようになった。人・物・金が動き始めたように感じます。
		津軽	設計事務所	来年に向けた建築設計の業務依頼は例年だとこれから集中してきます。
			スナック	年末に向けて、忘年会等が入ってくるため忙しくなると思います。
			衣料専門店	農業生産者の収入が増している。
			旅行代理店	りんごの価格が高値で推移することを期待して。
			卸売業	毎年10月以降が繁忙期のため。
			コンビニ	農家の自然災害がなければ、景気は少し良くなってくると思います。台風が来ない事を願っています。
		県南	美容院	世の中の話（五輪、豊洲、衆議院選）の情報により、少しでも世間が活性化して欲しいと思います。
			下北	年末にかけて人の動きが期待できる。
企業	津軽	経営コンサルタント	農作物に今後台風の影響がなければ、リンゴや米の収穫期に入り、景気は少し良くなってくるのではないかと。社会保険に加入しなければなくなるパート主婦達の手取り給与の減少が、どの程度購買力に影響してくるのか怪訝はあります。	
変わらない	家計	東青	住宅建設販売	青森の冬、「雪」が全てのテンションを下げる傾向にある。
			ガソリンスタンド	人口減少に歯止めがかからず、全体的な消費はしぼんで行く。
			スーパー	一次産業では大きなマイナス与件はないと思うが、県外からの商品不足により相場高が続くものと思われ。お客様の購買頻度には影響が出ると判断しています。
			旅行代理店	特に大きな変化も良くなる要素もない。

先行き	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	東青	美容院	天候に左右されているように感じる。天災がないことを願います。
			卸売業	今のままで進みそうな感じです。
			商店街	県内の基準地価が、商業地の新町商店街2地点でいずれも長期下落を脱したとされ、現状維持と認識されます。
			タクシー	これからはあまり良い話をしているお客様がなく、今後の景気はこのまま続くのではないかと数多くのお客様が話していましたので。
	津軽		乗用車販売	変化する要素がない。
			住宅建設販売	業者間の競争が激しく、利益も少なく、従業員の待遇改善等も難しい。
			観光型ホテル・旅館	景気が良くなる材料が見当たらない。強いて言えば、11月24日からJR東日本大人の休日倶楽部が2週間実施される事。
			パチンコ	良くなる要素がない。
			都市型ホテル	改善要因が見当たらない。
			観光名所等	外客の団体が大幅増加したが、弘前城曳家の為公園滞在が40分増加、その分当施設の滞在時間が減少。弘前りんご公園滞在が増加している。
	県南		パチンコ	地方の市町村の景気はどうすれば良くなるのか。それぞれの地域の公共関連、各企業、街の努力は見えるが、展望が見えない。
			設計事務所	アベノミクス効果も感じるところでは、少しずつ回復しているのでは。牛歩の様に少しずつではあるが回復しているのでは。
			卸売業	政府の景気浮揚の効果が末端に届くのが難しい気がする。
			コンビニ	働いている方々の使えるお金は変わっていない様子です。
			観光型ホテル・旅館	消費税増税の延期はあるものの、先行き不透明なため良くも悪くも大きな変化なし。
			観光名所等	ガクンと落ちる事はないと思うが、このまま緩やかではないかと思う。
			ガソリンスタンド	補正予算の執行も考えられるが、個人消費の動向を左右する迄には至らず、大きな変化はないものと思われる。
			タクシー	ある一部では景気がいいと言う人もいるけれども、市民全体に景気がいいと感じられない。
	下北		都市型ホテル	良くなる要素もないものの、大幅に悪くなるとも思えない。
			ガソリンスタンド	良くなる要素がまるでありません。
			スーパー	原発の停止など景気に及ぶ悪条件ばかり。地域の振興券などのイベントもない。

先行き	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	下北	コンビニ	年末年始は上向きになると思うが、それ以降は期待できない。
	企業	東青	広告・デザイン	特段に大きな要素が無い。
			経営コンサルタント	出来秋を迎え野菜の高値が続いており、米、リンゴ、ホタテ等も期待出来ると思われる。建設、貨物運送業も好調を持続している。反面、個人消費は伸び悩みが続いており、漁業ではサバの水揚げが遅れているので、全体としては横ばいか。
			食料品製造	このところの天候異常で野菜の値上がりが家計に厳しく、元々生活水準の高い人達と一般の差が出ると思うので。
		津軽	広告・デザイン	景気が良くなる要素に乏しく、しばらくは現状のまま続くのでは。
			飲料品製造	取引先の聞き取りで。
		県南	電気機械製造	大きな事件が起こらなければ、微減で済みそうです。来春の受注回復の見通しも顧客によりあります。
		県南	飲料品製造	業界とすれば需要期に入っていくが、先行きに不透明感あり。盛り上がりには欠けそうな気がする。
			広告・デザイン	正直分からない。予想がつかない。新たな事業計画は情報として持っているが、これからまだ先である。
			経営コンサルタント	ここ数か月状況は何ら変わっていない。今後もしばらくはこのまま行くのではないか。
	雇用	東青	人材派遣	雇用安定に伴う法律の改正や最低賃金の値上げ等、労働者へ対しての処置が良くなる反面、雇用側企業の負担が大きくなり、対策が追いついていないように見受けられるので、結果に結び付くまではまだ時間が掛かると感じております。
			新聞社求人広告	良くなる要素がない。
		津軽	新聞社求人広告	年末年始への期待感はあるものの、これといった上昇要因が見当たらない。
		県南	新聞社求人広告	良くなるような状況が見えない。
やや悪くなる	家計	東青	観光型ホテル・旅館	オフシーズンの集客は全く例年と変わらないか、むしろ函館に全国の目が向いているマイナスの効果を心配する。
			都市型ホテル	食材の高騰が続いて仕入れ価格の上昇が懸念され、収益の圧迫が予想される。
	津軽	一般小売店	7月～9月の傾向からやや悪い程度で済めばよいと思う。	
		県南	商店街	近隣で大きなイベント等がないから。
			衣料専門店	衣料に関しては個人消費が低迷していると思いますし、店そのものの集客力も厳しい状況が続いています。
			百貨店	不要不急の消費を控えるなど相変わらず購買行動が慎重になっていると思われるため。
			一般飲食店	昨年は年間通して大きなイベントもあり順調だったが、今年は反面、夏の余波がある様だ。台風も多く、災害を懸念しての消費の抑制があるように思われる。
		旅行代理店	原油の値上がり。	

先行き	分野	地区	業種	理由
やや悪くなる	家計	下北	一般小売店	景気が上向きそうな話題も特に無し。灯油を使う季節になり、財布の紐が固くなりそうです。
		企業	津軽	電気機械製造
	県南		食料品製造	業界の内部環境の悪化は確実に取引先の景気悪化をもたらすから。
			建設	人口減、少子高齢化による地方の弱体化、節約志向の高まりでデフレ化懸念、企業の採用難などが問題化している。
	下北	食料品製造	北海道の台風被害、海水の高温度等、農水産物の値上がりが見込まれる為。	
悪くなる	家計	津軽	ガソリンスタンド	景気が悪くなると売上げを下げたくないで、利益率を減らしても売れるようになる。デフレスパイラルですか。
		県南	レストラン	このまま、色々な物の値上げがあると、家庭でカットされるのは外食や飲み会。売り上げが下がります。
			スーパー	実質所得が目減り。
		下北	一般飲食店	物価がどんどん上がっていきます。政治家が最悪の考えのトップだからと思います。

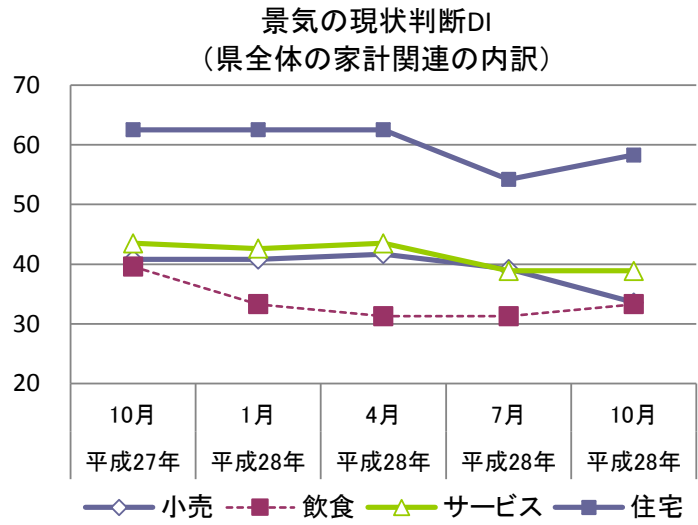
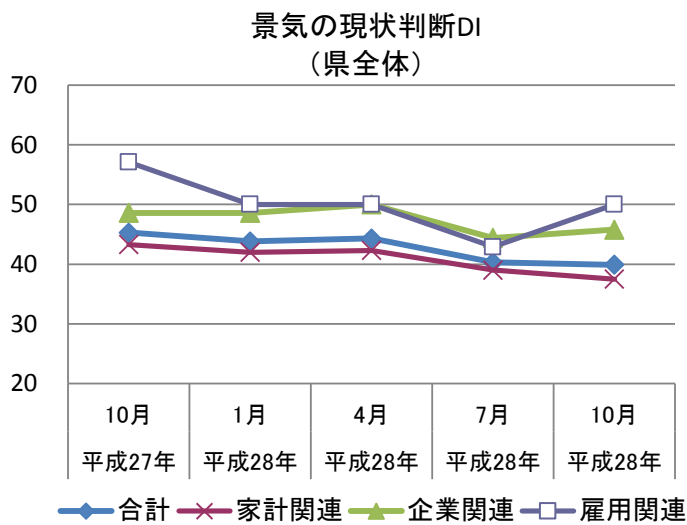
## 5. 参考

### (参考1) 景気の現状判断

#### ①DI

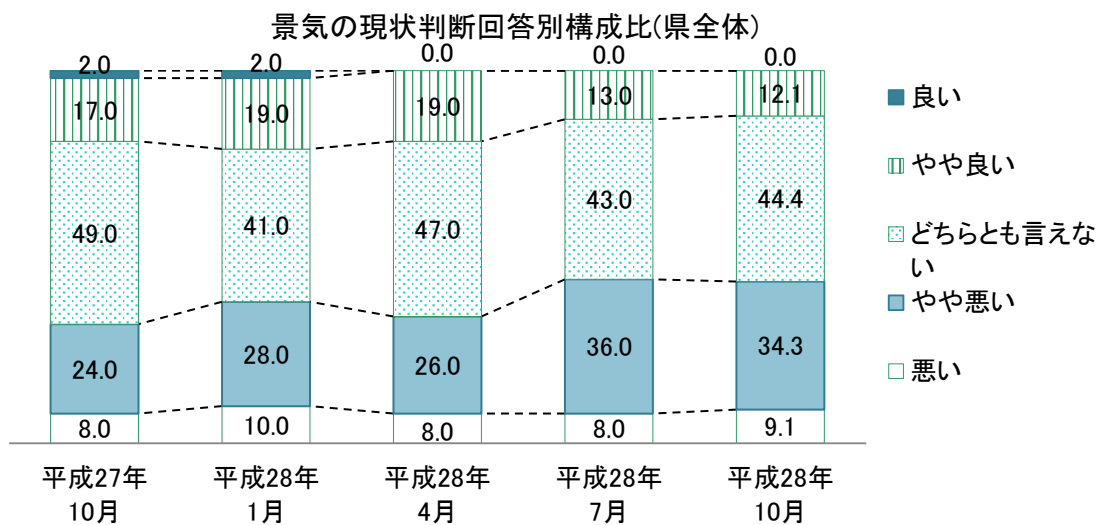
n = 99

	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>45.3</b>	<b>43.8</b>	<b>44.3</b>	<b>40.3</b>	<b>39.9</b>	<b>▲ 0.4</b>
家計関連	43.3	42.0	42.3	39.0	37.5	▲ 1.5
小売	40.8	40.8	41.7	39.2	33.6	▲ 5.6
飲食	39.6	33.3	31.3	31.3	33.3	2.0
サービス	43.5	42.6	43.5	38.9	38.9	0.0
住宅	62.5	62.5	62.5	54.2	58.3	4.1
企業関連	48.6	48.6	50.0	44.4	45.8	1.4
雇用関連	57.1	50.0	50.0	42.9	50.0	7.1



#### ②回答別構成比 (%)

	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	前期調査 との差
良い	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良い	17.0	19.0	19.0	13.0	12.1	▲ 0.9
どちらとも言えない	49.0	41.0	47.0	43.0	44.4	1.4
やや悪い	24.0	28.0	26.0	36.0	34.3	▲ 1.7
悪い	8.0	10.0	8.0	8.0	9.1	1.1

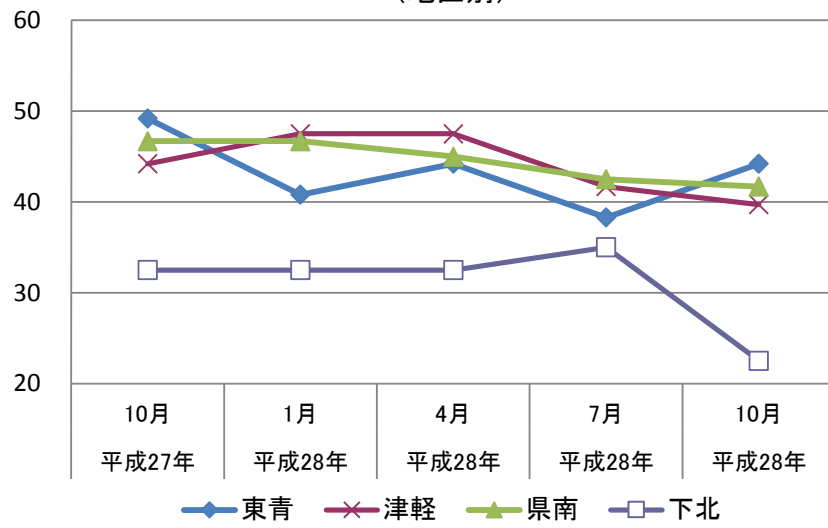




③地区別DI

	平成27年 10月	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>45.3</b>	<b>43.8</b>	<b>44.3</b>	<b>40.3</b>	<b>39.9</b>	<b>▲ 0.4</b>
東青	49.2	40.8	44.2	38.3	44.2	5.9
津軽	44.2	47.5	47.5	41.7	39.7	▲ 2.0
県南	46.7	46.7	45.0	42.5	41.7	▲ 0.8
下北	32.5	32.5	32.5	35.0	22.5	▲ 12.5

景気の現状判断DI  
(地区別)



(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	衣料専門店	地域活性化用施設の対応不備から周辺の開発が進まず、牛歩状態が数年続いている。経済はスピードが大事と認識しているが、大御所は何とかなるとお思いのようだ。まさかどうでもいいとは思ってはいないだろう。
		一般飲食店	実感として郊外のショッピングモールも存在感が落ち着いたように感じますので、街の中でもっと取組を活発に行えば経済も良くなると思います。頑張りましょう。
		レストラン	今年はガイドブックなど多くのマスメディアにアピールできたので、お客様の目についたのでは。また個人の（県外）お客様のリピーターがかなり多かったのも、自分なりの店の評価はしていただけただけののかな。県の県外に対してのアピールはうまくいったのではないかな。
		観光名所等	北海道からの修学旅行の動向を見ると、小学校では函館市近郊（北斗市、七飯町）からの来館が増えた一方で、中学校では札幌市を中心に大きく来館が減っており、新幹線効果のプラス、マイナス両面が見られる。
		美容院	悪天候が続くことで、外出を控える方々が多く見られた。
		住宅建設販売	ますます予算の厳しい顧客やローンの厳しい顧客が増えたように感じます。
津軽		コンビニ	自然災害があると、保険に入っているだけでも心配だと農家の方が言っていました。台風などが無い事を願うばかりです。
		一般小売店	現状として何も動きが感じられない。強いて言えば、年輩のお客が少しずつ減っていること。
		一般飲食店	昨年は弘前城の曳家があり多くの観光客が訪れたが、今年は函館行きのお客が増えた感があり、弘前への来客が減った感がありました。
		観光名所等	アメリカの大統領選。募集しても人が集まらない。
		ガソリンスタンド	人口減少、中心街活性化の対策に官民一生懸命に取り組んでいるが、青森市同様、津軽でも中心街が無くなっていく感じがする。
県南		スーパー	実質消費者の観点からの感覚での回答です。店舗についても、その状況からの影響を加味した両面から回答しています。
		乗用車販売	若年層は本当は欲しい物が沢山あるが、将来の見通しも不安だし、貯蓄も無く買えない。高齢者が老後のためと古い家にリフォーム代300万円とか使う時代、県内企業全体が若い人たちを元気づけるような事をやっていたいかならばならないと思う。
		家電量販店	9月16日 iphon e 7発売が好調。
		一般小売店	コンビニや居酒屋等、商売を止める所が目につく。どの業界も競争は厳しいのだろう。
		一般飲食店	東京都の問題等、行政の不手際が目立ち、暗いニュースがはびこり、その影響がいろいろな所で消費を抑えているのではないかな。
		観光型ホテル・旅館	北海道新幹線の効果はこれからである。ここまでは開業効果であり、ここからが真の効果が見えてくる。目先の成果ではなく、中長期的な目先で評価していきたい。
		旅行代理店	東京でのホテルが取れず、旅行先の変更が発生している。
		タクシー	市民の大多数が景気がいいと感じられる施策が欲しい。
		美容院	少子高齢化がハッキリ表れて来ている様に思う。若者時間より高齢者時間の方が目立ちます。人数もその通り。
下北		コンビニ	年々、人口が減っていて大変。経営困難な状況に陥るところが多いのでは。

分野	地区	業種	自由意見	
家計	下北	スーパー	ジオパークの認定が唯一の話題。いかにお客様を呼べるかは、これからの課題。	
		一般小売店	昨日、七戸十和田駅まで行く用事がありました。連休という事で駐車場は満車でした。連休の度、臨時駐車場が一杯になるとの事。新幹線開業により、観光客の増加ばかりに目がいきますが、逆にストロー効果で首都圏での消費が伸びていないか気になる所です。	
		一般飲食店	何の変化もない中で、皆様一生懸命調査をなさっているのに、少しでも良い方向にある事を報告したいと思っておりますが、残念です。	
企業	東青	建設	政治の重要性を痛感しています。	
		津軽	食料品製造	いつも行っている靴屋さんが撤退した。又、筆耕業の方も廃業したらしい。何でもインターネットで買えるのはいいが、商店街がどんどん寂れる。
			建設	県内への新幹線利用客は増加したのか。道南の割合が多いのではないかと。県内へ呼び戻せる魅力がもっとあればいいのと思う。最近、異常気象が多く、大雨、洪水等、大変な状態が続いている。農家の方への被害がなければいいと思う。
	広告・デザイン	政府与党は選挙の時にはアベノミクスのエンジンを更にふかすのだと言っているが、ギアが入っていないのではないかと。一向に景気回復の兆しすら見えない。与党への多くの投票は改憲をしてくだささいと言っているのではない。		
	県南	電気機械製造	JR東日本（新幹線）の固定利用客軽視や地域内列車の少なさは青森県として不満を伝えるべきと考える。観光客は予約が早く定期列車に乗れるので、ビジネス客には臨時列車を出して誘導すればいい。盛岡／秋田／仙台～函館／青森間の朝夜便ももっとあってよい。現行は終電が早すぎでは。	
		建設	減反政策の廃止を契機に農業を辞めるといふ農家の声が多く聞かれる（農機を購入、更新できるだけの利益を見込めなくなるし、飼料米では作る意欲がわからない）。	
		経営コンサルタント	社員を募集しても、全然応募が来ない。若者は青森県から出て行ってしまったのか。	
		広告・デザイン	現在、本業とは別の町のプロジェクト計画に私自身が参加している。この事業が成功すれば、青森県にとって大きな資産価値を作ることができる。	
企業	下北	食料品製造	北海道を始めとする（青森も含む）農水産物の減産、高値が近いうち、大幅な価格上昇、消費動向の落ち込みになると思われる。	